

### ● 構成メンバー

低侵襲医療研究室は、当院の外科系各診療科(外科 泌尿器科 心臓血管外科 小児外科 耳鼻咽喉科 産婦人科 腎移植外科 脳神経外科 麻酔科 呼吸器外科 眼科 皮膚科 整形外科)で構成されている。

### ● 活動状況

1. 当研究室では内視鏡手術の専門医(日本内視鏡外科学会技術認定取得者)を多数配し、安全・安心な内視鏡手術の実践に努めている。
2. さらに、手術機材の工夫・手術材料の選択等により、患者さんへの負担の少ない医療を実現している。
3. 当研究室は、近隣地域からの受診にとどまらず県内・県外から多数の患者さんが受診し、地域医療のみならず所属している学会を主導している診療科も複数科あり、活発な研究活動を行っている。論文、学会報告等は各診療科ページを参照されたい。

4. 低侵襲手術例は具体的には泌尿器科が腹腔鏡手術 60 例、経尿道的尿路結石除去術 46 例、経尿道的膀胱・前立腺手術 152 例を行っている。

産婦人科は内視鏡視下手術を年間 21 例施行し、皮膚科も低侵襲手術を 3 例行っている。

小児外科は低侵襲手術 138 例であった。

- ・経尿道的手術 29 例(Deflux 8 例、TUI 3 例、ステント留置・抜去 17 例、異物摘出 1 例など)
- ・胸腔鏡手術 1 例(横隔膜修復)
- ・腹腔鏡手術 108 例(鼠径ヘルニア 47 例、噴門形成 2 例、胃部分切除 1 例、十二指腸空調吻合 1 例、精巣固定 2 例、腎盂形成 4 例、虫垂炎 37 例、胃瘻造設 6 例、鎖肛根治術 1 例)

心臓血管外科も胸腔鏡を用いて小開胸下に弁膜症、冠動脈手術が年間約 4 例行われている。

胸部外科では胸腔鏡手術年間約 120 例、一般外科が内視鏡年間 359 例、整形外科は内視鏡ヘルニア摘出術が年間約 110 例、ナビゲーションシステム脊椎手術が約 40 例、骨盤輪損傷に対するコンピュータ補助によるナビゲーションシステム内固定術が約 20 例行われている。

このように、当室の診療科は「外保連(外科系学会社会保険委員会連合)手術指数」による手術技術度の高い手術を多く行うことにより、当院が DPC II 群病院であることに大きく貢献をしている。

### ● 研究業績

当院の各診療科のページや診療科独自のホームページをご参照ください。